

# 平成30年度 事業報告書

大慈あい小規模保育園

## 1. <基本方針>

- ①子ども・保護者一人一人をよく把握し、寄り添った保育を行う。
- ②職員一人一人が自己研鑽を行い、資質向上に努める。

## 2. <平成30年度報告>

- ①子ども・保護者一人一人をよく把握し、寄り添って保育を行う。  
→子どもとスキンシップを取り、安心して過ごせるようにした。  
保護者とコミュニケーションを図り、安心して預けられるよう関係づくりに努めた。
- ②保育理念をよく理解し、丁寧に保育を行う。  
→一人一人の気持ちを受け止め、丁寧な保育に努めた。
- ③保護者や地域の方々とのより良い信頼関係が保てるよう積極的に関わる。  
→職員紹介ニュースを発行し、職員と保護者の関係が円滑に築けるようにした。  
→園だより等を配布するとともに、積極的に働きかけ、関係を深めていく。
- ④職場内、職場外研修を行い、全職員で共通理解をする。  
→11月23日法人内合同研修で午前中は、神戸松陰女子大学生活学科、寺見教授の講演「保護者との関係、対応について」を受ける。  
午後から、ほまれこども園の職員から他の園へあやとりの遊び方を伝授する。  
その後、グループに分かれ時間外に受けた「やってみようとする保育を考える」で実践したことを話し合い発表した。
- ⑤日頃より、法人内園・児童館に行き、交流を深める。  
→基本、月曜日にたちばな児童館に行き、大慈ほまれこども園はもとより法人内園にも行き、楽しく遊んだ。
- ⑥リスクマネジメント会議を月1回行い、安全を確保する。  
→園だけではなく、チーム会議でも話し合い、情報を共有し安全を確保する。

## 3. <行事計画>

月	行事	月	行事
4月	入園式	11月	個人懇談
6月	個人懇談	12月	クリスマス会
7月	七夕まつり	1月	おもちつき
9月	運動会	2月	豆まき
10月	個人懇談・遠足ごっこ	3月	お別れ会・お別れ遠足・卒園式

### 月間行事

- ・お誕生日会（月1回）大慈ほまれ幼保連携型認定こども園にて
- ・発育測定
- ・防災訓練

### その他

- ・事故対応訓練（SIDS・誤飲・アレルギー対応）

- ・消火器、火災報知機の点検を年2回行う。

4. <<保健衛生計画>>

項 目	頻 度 等
園児・職員定期内科健康診断	園児 春秋年2回 職員 春年1回
園児歯科健診	6月・年1回
園児耳鼻科健診	6月・年1回
園児身体測定	月1回
園児検尿	兵庫県予防医学協会により年1回
保育士全員検便	(株)有研により月1回以上

5. <<平成30年度在籍児一覧表>>

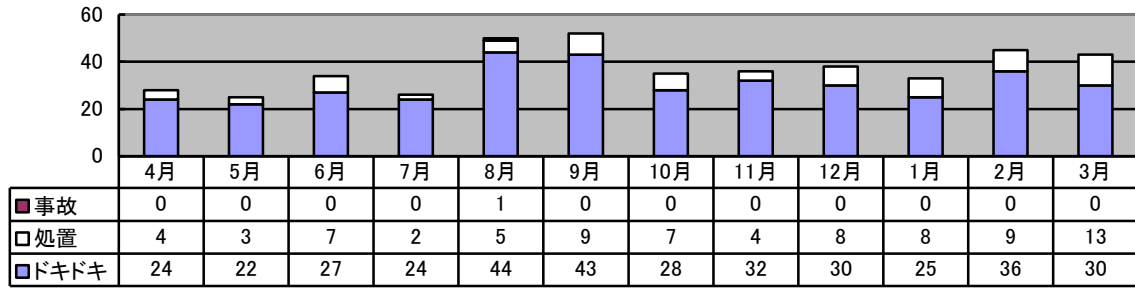
	0歳児	1歳児	2歳児	合計	充足率
4月	2	5	10	17	94%
5月	3	5	9	17	94%
6月	3	5	9	17	94%
7月	3	5	9	17	94%
8月	3	5	10	18	100%
9月	3	5	10	18	100%
10月	3	5	10	18	100%
11月	3	5	10	18	100%
12月	3	5	10	18	100%
1月	3	5	10	18	100%
2月	3	5	10	18	100%
3月	3	5	10	18	100%
合計	35	60	117	212	98%

6. <<リスクマネジメント報告>>

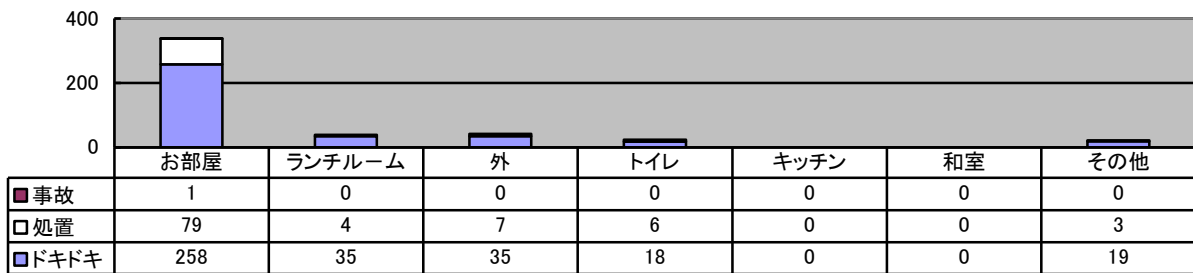
※医師の診察を受けた怪我を事故と定義する。

	平成29年度				平成30年度				
	合計件数	事故	ドキドキ	処置	報告件数	合計件数	事故	ドキドキ	処置
報告件数	367件	1件	327件	39件		445件	1件	365件	79件

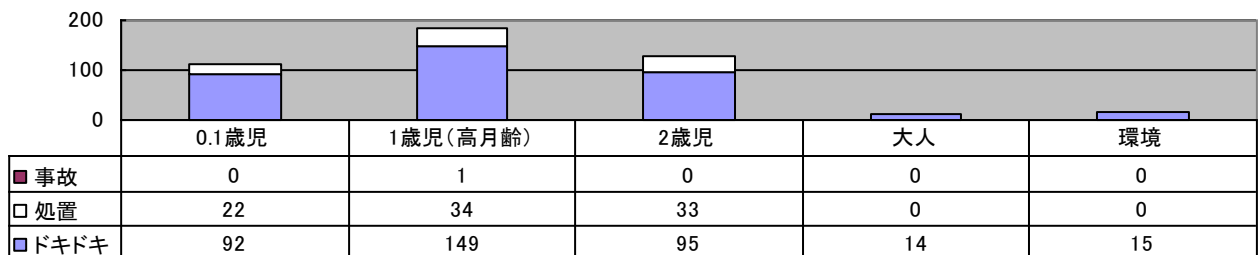
① 月別発生件数



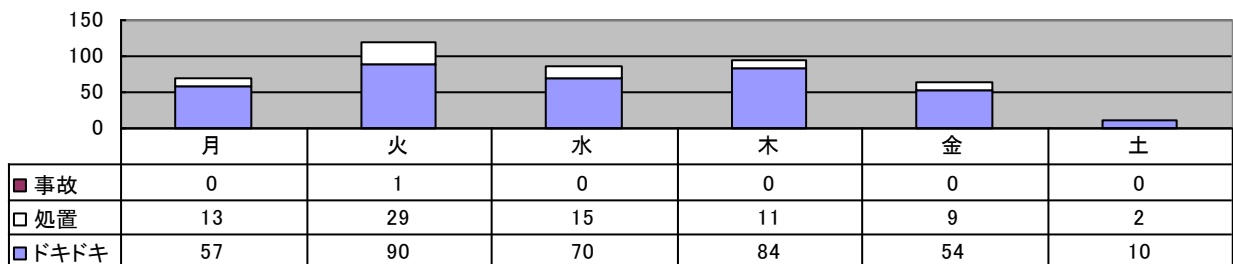
② 場所別件数



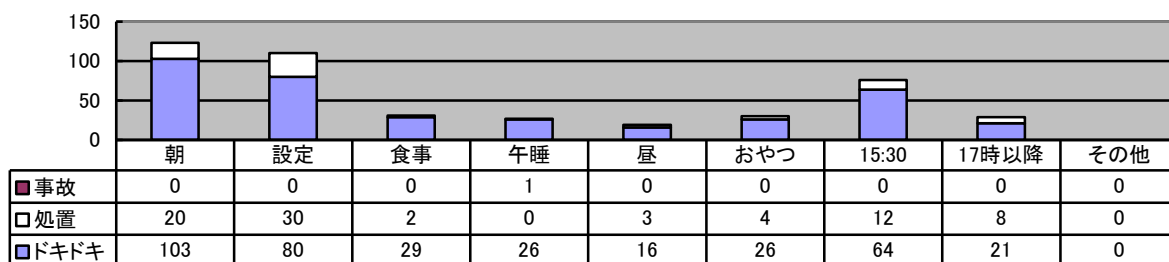
③ クラス別発生件数



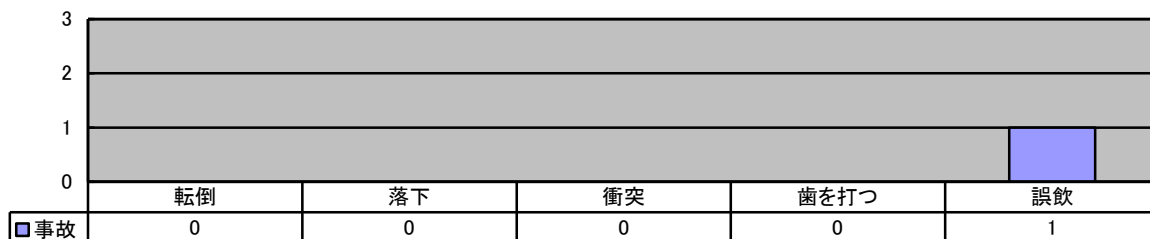
④ 曜日別発生件数



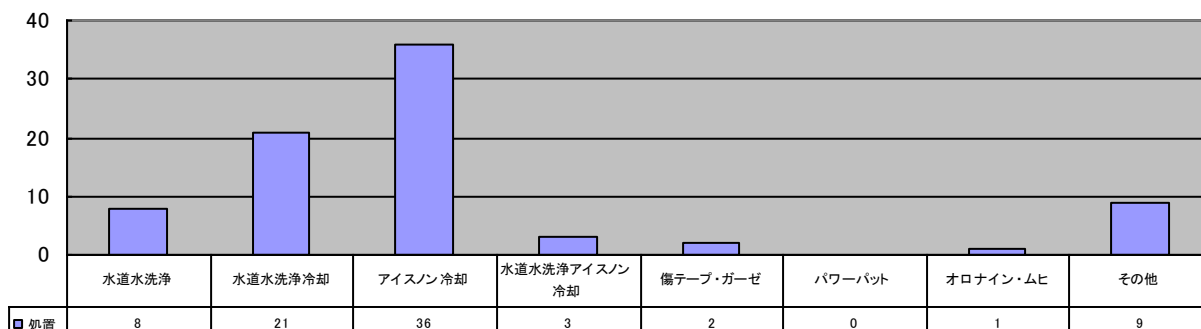
### ⑤時間帯別発生件数



### ⑥事故発生内容



### ⑦処置内容



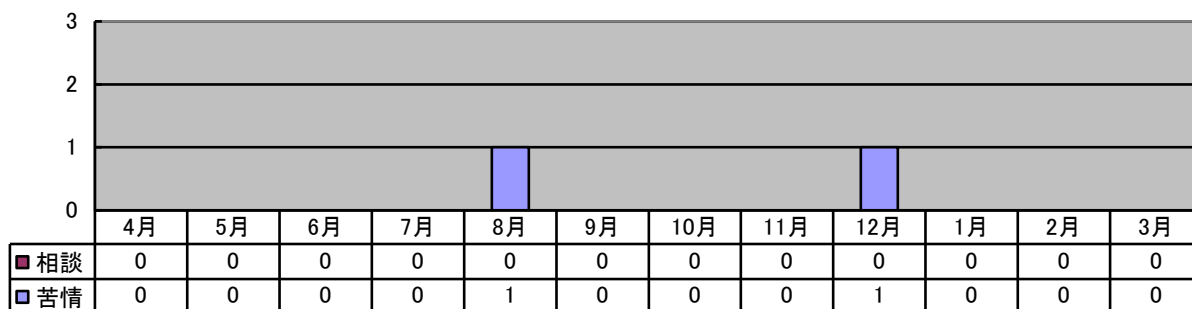
### ⑧まとめ

自分の思いを通そうとして、押したり、噛みつきが多かった。友だちの髪の毛のゴム（飾りなし）を飲みこんでしまう事故があった。病院に連絡をし、指示を受けた。手の届くところに物を置かないようにするとともに、拾って食べないように気をつけていきたい。自由遊びの時間帯にドキドキが多い。一人一人の子どもの様子を見て、保育者同士が声をかけ合う。ドキドキの件数が少なかったのでも些細なことでも情報を共有し、職員全体が把握して危険なことを減らしていくように心がけていきたい。

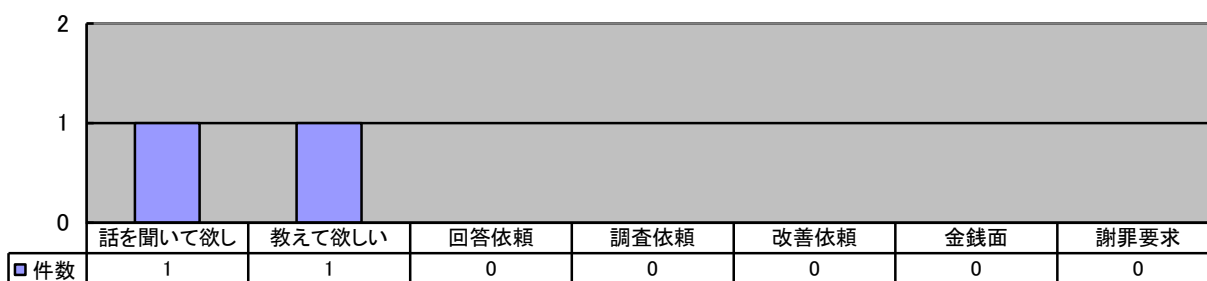
7. <<苦情・相談結果報告>>

苦情の定義→管理者が直接対応じた件を苦情とする。

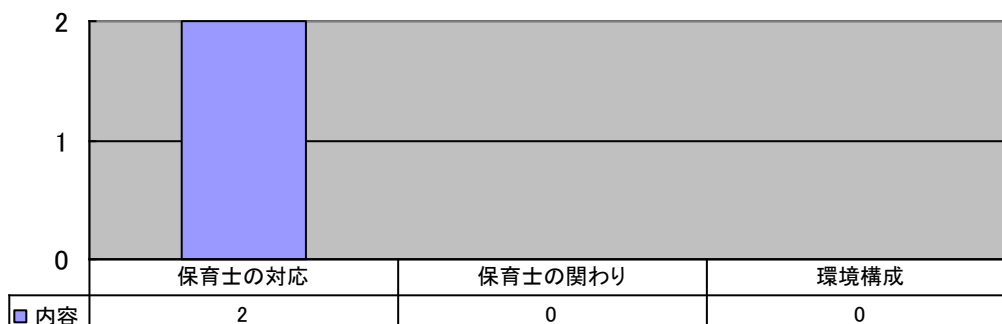
○報告件数・・・2件



要望分類



主な内容



○まとめ

伝達の食い違いによって保護者に不安を与え苦情へつながった。  
日常の些細な事でも職員全員が共通認識を持てるように努める。

8. <<総括>>

2年目に入り、保護者の理解・協力を得て子どもたちも笑顔で登園し園生活を楽しんでいく様子が見えてきた。ワンルームで園庭が無いため、近くの公園や神社、姉妹園に遊びに行き、体を動かしたり、季節の自然に触れることができた。散歩時、地域の方と挨拶や笑顔を交わし、たくさん触れ合うことが出来た。初めての集団生活で不安な方もいた。保護者が安心して預けられるよう、寄り添っていきたい。